

紛争処理申請書記入例

紛争処理申請書⑥「紛争処理を求める事項（争点）」各号の説明

<p>⑥ 紛争処理を求める事項 (該当する番号に○) ※別紙に具体的に記入して下さい</p>	<p>1 後遺障害の等級に関する事 2 過失の有無及び過失割合(減額)に関する事 3 事故と死亡、傷害、後遺障害との因果関係に関する事 4 その他()</p>
--	--

1 「後遺障害の等級に関する事」

例えば、

- ・ 自分が考えていた後遺障害の等級より低い等級が示されたケース
- ・ 自賠責の後遺障害等級に至らず、非該当として支払いを断られたケース

などが該当します。

2 「過失の有無及び過失割合減額に関する事」

例えば、

- ・ 保険会社・共済組合から相手方に過失がない無責事案であり支払えないと判断されたケース
- ・ 被害者に7割以上の重大な過失があり、減額を適用すると判断されたケース

などが該当します。

3 「事故と死亡、傷害、後遺障害との因果関係に関する事」

例えば、

- ・ 死亡は事故によるものではなく別の原因によるものであるとして、事故と死亡との間に相当因果関係はなく、死亡による損害については支払えないと判断されたケース
- ・ 事故による損害として請求している特定の治療は、被害者が事故以前から治療していたもので、事故との間に相当因果関係がないと判断されたケース

などが該当します。

4 「その他」

例えば、

- ・ 治療費の一部しか認めてもらえなかったケース
- ・ 休業損害の認定額が納得できないケース
- ・ 看護料を認めてもらえなかったケース

などが該当します。

※争点の変更を行うことも可能です。例えば後遺障害の受傷部位等の変更が想定されます。

「別紙」の記入例（別紙はパソコン用紙等の使用も可能です。）

後遺障害認定申請書 （後遺障害認定申請書）	
申請人 氏名 性別 年齢 住所 電話番号	
1	後遺障害の等級
2	後遺障害の認定
3	後遺障害の認定
4	後遺障害の認定
5	後遺障害の認定
6	後遺障害の認定
7	後遺障害の認定
8	後遺障害の認定
9	後遺障害の認定
10	後遺障害の認定
11	後遺障害の認定
12	後遺障害の認定
13	後遺障害の認定
14	後遺障害の認定
15	後遺障害の認定
16	後遺障害の認定
17	後遺障害の認定
18	後遺障害の認定
19	後遺障害の認定
20	後遺障害の認定
21	後遺障害の認定
22	後遺障害の認定
23	後遺障害の認定
24	後遺障害の認定
25	後遺障害の認定
26	後遺障害の認定
27	後遺障害の認定
28	後遺障害の認定
29	後遺障害の認定
30	後遺障害の認定
31	後遺障害の認定
32	後遺障害の認定
33	後遺障害の認定
34	後遺障害の認定
35	後遺障害の認定
36	後遺障害の認定
37	後遺障害の認定
38	後遺障害の認定
39	後遺障害の認定
40	後遺障害の認定
41	後遺障害の認定
42	後遺障害の認定
43	後遺障害の認定
44	後遺障害の認定
45	後遺障害の認定
46	後遺障害の認定
47	後遺障害の認定
48	後遺障害の認定
49	後遺障害の認定
50	後遺障害の認定
51	後遺障害の認定
52	後遺障害の認定
53	後遺障害の認定
54	後遺障害の認定
55	後遺障害の認定
56	後遺障害の認定
57	後遺障害の認定
58	後遺障害の認定
59	後遺障害の認定
60	後遺障害の認定
61	後遺障害の認定
62	後遺障害の認定
63	後遺障害の認定
64	後遺障害の認定
65	後遺障害の認定
66	後遺障害の認定
67	後遺障害の認定
68	後遺障害の認定
69	後遺障害の認定
70	後遺障害の認定
71	後遺障害の認定
72	後遺障害の認定
73	後遺障害の認定
74	後遺障害の認定
75	後遺障害の認定
76	後遺障害の認定
77	後遺障害の認定
78	後遺障害の認定
79	後遺障害の認定
80	後遺障害の認定
81	後遺障害の認定
82	後遺障害の認定
83	後遺障害の認定
84	後遺障害の認定
85	後遺障害の認定
86	後遺障害の認定
87	後遺障害の認定
88	後遺障害の認定
89	後遺障害の認定
90	後遺障害の認定
91	後遺障害の認定
92	後遺障害の認定
93	後遺障害の認定
94	後遺障害の認定
95	後遺障害の認定
96	後遺障害の認定
97	後遺障害の認定
98	後遺障害の認定
99	後遺障害の認定
100	後遺障害の認定

後遺障害認定（14級認定）の場合

1 紛争の問題点

保険会社から、被害者の後遺障害について、自賠等級第14級と認定された。被害者は首に障害を負ったことにより事故前にはなかった頭痛・めまいや手のしびれ等に悩まされており、マッサージに通っているがなかなか良くなり、以前のように仕事ができない状態である。したがって後遺障害としては、もっと高い等級がついてしかるべきであると思う。

2 交渉の経過の概要及び請求の内容

保険会社に異議を申立てたが、「他覚的所見がない」ので認められないとして14級のままであった。整形外科の医師からは頸部のヘルニアが原因であると言われていたので、他覚的所見は認められるはずである。正しい判定をしていただき、14級より高い後遺障害認定がなされるよう申請する。

（記入例）過失の有無や重過失減額に関する場合

1 紛争の問題点

保険会社は、被害者がバイクでセンターラインをオーバーした事故で、被害者の一方的過失であるため、相手方には賠償責任が無いと言って支払わない。被害者は、事故後直ちに救急車で搬送されたため、相手方側の説明のみで事故処理が行われてしまった。警察の説明では、相手方側の車線に大きく入っていることになっているが、実際の衝突位置は中央線付近であり、被害者のバイクはそれほどみ出していない。相手方が注意していれば事故は防げたのに、被害者の一方的過失というのは納得できない。また、相手方にはスピード違反の疑いもある。

2 交渉の経過の概要及び請求の内容

保険会社に対しては請求の際、事故状況報告書に正しい衝突場所を提出している他、相手方側の過失についても説明している。また、異議申立てをした際にも同様の説明をしたが、被害者側の申立てが全く無視され、相手方には全く責任がない、との通知がきた。このため、事故状況を正確に調査して頂き、保険会社が支払うよう申請する。